

1. 科目名 (単位数)	教職実践演習 (小学校) (2単位)	3. 科目番号	EDTE4391
2. 授業担当教員	垣崎 授二		
4. 授業形態	講義、演習、実習等を適宜利用する	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	教職に関する単位を取得してから履修することが望ましい。 該当する教員免許状の希望者を受講対象者として、履修カルテを使用した授業を実施することから、履修できる学生は、小学校教諭の資格課程登録者のみとする。		
7. 講義概要	教職実践演習 (小学校) は、本学の教員養成に必要な「理論と実践」の融合を目指す科目として設定されている。これまでの学習を通じて身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、最終的に確認する科目である。 この科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようにすることを期待して実施される科目である。		
8. 学習目標	教員として求められる資質・能力の形成に関して、以下の目標を設定し、達成することができる。 ① 職務遂行に必要な使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項を再確認する。 ② 社会性や対人関係能力に関する事項の発揮に関しての再確認をする。 ③ 実習等で得られた幼児・児童・生徒理解の仕方や学級経営の在り方に関する事項の再確認をする。 ④ 教科・領域等教育課程の実施に当たっての指導力・実践力に関する事項の再確認をする。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・課題Ⅰ (レポート) 教育実習の成果と課題について1200字A4で1枚にまとめる。 ・課題Ⅱ (修了レポート) 「学級経営案の作成」 *様式に従いA4で1枚にまとめる ※レポートの提出期限はその都度指示する。 		
10. 教科書・参考書・教材	教科書】 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書は使わずに、随時資料を配布する。 ・配布資料を整理し蓄積するファイルを準備すること。 【参考書】 <ul style="list-style-type: none"> ・松永昌幸『学級生活指導の基礎スキル1生活ルールの指導の定石～良質な学級生活を創る～』明治図書、2011年 ・各自の「教職履修カルテ」と「教育実習日誌」 ・その他、必要に応じて紹介する。 		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 学習目標の実現度において評価する。 ○評定の方法 日々の授業態度、参加度 30% レポート課題 40% 日常の学習状況 30%		
12. 受講生へのメッセージ	大学生活を締めくくることが自覚して取り組むこと。教育実習での貴重な体験を振り返り、その成果(成功や失敗)を全体のものとするのが、この授業です。皆さんの教育実習での体験に磨きをかけ、体験を共有し、英知を出し合い、課題を克服することによって、一人ひとりの学生が教員になることの現実性・可能性が増し、教職そのものを改めて考える機会となることを期待します。		
13. オフィスアワー	第1回の授業時に説明する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (教員・受講者の自己紹介、授業の進め方、シラバスの説明、グループ編成) 子どもたちと良好な関係をつくるには①	事前学習	学級はじめの《生活ルール》について自分の考えをまとめておく。
		事後学習	授業後感想を提出。
第2回	教育実習の成果と課題 ・子どもたちと良好な関係をつくるには ・今後教師に求められる資質・能力とは グループ討議をする。	事前学習	子どもとの良好な人間関係をつくるために何が必要なのかを考えておく。
		事後学習	授業後感想を提出。 教育実習の成果と課題をレポートにまとめる。 *レポートⅠの作成をして指示された期限までに提出する
第3回	事例研究① ・毅然さから安心感をつくりだす ・子どもたちから信頼を得る①のために グループ討議をする	事前学習	学級づくりのため「生活ルールをどう指導するのか」考えておく。
		事後学習	授業後感想を提出。
第4回	事例研究② ・秩序を見せて「安定感」をつくりだす ・子どもたちから信頼を得る②のために グループ討議をする。	事前学習	学級づくりのため「生活ルールをどう指導するのか」考えておく。
		事後学習	授業後感想を提出。
第5回	事例研究③ ・学習環境整備に関する事例 ・子どもたちにクラスのルールを定着・共有	事前学習	学級づくりのため「生活ルールをどう指導するのか」考えておく。
		事後学習	授業後感想を提出。

	化させるためにグループ討議をする。		
第6回	事例研究④ ・荒れない学級、いじめをゆるさない学級をつくるために①グループ討議をする。	事前学習	学級づくりのため「生活ルールをどう指導するのか」を考えておく
		事後学習	授業後感想を提出。
第7回	事例研究⑤ ・荒れない学級、いじめをゆるさない学級をつくるために②グループ討議をする。	事前学習	学級づくりのため「生活ルールをどう指導するのか」を考えておく。
		事後学習	授業後感想を提出。
第8回	事例研究⑥ ・学級会の活性化について① ・子どもたち同士の関係づくりのサポートについてグループ討議をする	事前学習	学級づくりのため生活ルールをどう指導するのかを考えておく。
		事後学習	授業後感想を提出。
第9回	事例研究⑦ ・学級会の活性化について② ・子どもたち同士の関係づくりをサポートする	事前学習	学級づくりのため「生活ルールをどう指導するのか」を考えておく。
		事後学習	授業後感想を提出。
第10回	事例研究⑧ 学級集団指導について理解しグループ討議をする	事前学習	学級づくりのため「生活ルールをどう指導するのか」を考えておく。
		事後学習	授業後感想を提出。
第11回	事例研究⑨ ・教室外での集団行動についてグループ討議をする。	事前学習	学級づくりのため「生活ルールをどう指導するのか」を考えておく。
		事後学習	授業後感想を提出。
第12回	学級経営案の作成① ・どんな学級をつくるか ・学級経営案の書き方	事前学習	これまで学んできた内容をもとに、どんな学級をつくりたいのか自分の考えを準備しておく。
		事後学習	授業後感想を提出。
第13回	学級経営案の作成② ・どんな学級をつくるか ・学級経営案の書き方	事前学習	学級経営案（素案）を考えておく。
		事後学習	学級経営案を仕上げ、レポートを作成する。 授業後感想を提出。 *レポートVの作成をして指示された期限までに提出する。
第14回	学級経営案の発表① ・教師に求められる資質・能力 ・自己の教育指導観 ・自己のめざす教師像	事前学習	作成した学級経営案をもとに、自己がめざす教師像について発表できるようにしておく。
		事後学習	他者の考えを聞き、よいと思ったところを整理しておく。 授業後感想を提出。
第15回	学級経営案の発表② ・教師に求められる資質・能力 ・自己の教育指導観 ・自己のめざす教師像 ・授業の総括	事前学習	作成した学級経営案をもとに、自己がめざす教師像について発表できるようにしておく。
		事後学習	他者の考えを聞き、よいと思ったところを整理しておく。 授業後感想を提出。